※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　工業科

教科	工業科	科目	自動車工学	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「322 自動車工学１」「工業 322 自動車工学２」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車を構成する各要素の整備方法や、各種の性能試験及び、安全作業や関係法令について学ぶ。

2　学習の到達目標

自動車のエンジン、シャシの各装置の基本的な整備ができることを念頭に、3 級自動車整備士試験に合格できる力をつけることを目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身に付ける。	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に課題等を見つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して問題解決する能力を身に付ける。	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する技能を習得する。	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身に付いている。
評価方法	各単元について関心を持ち、積極的に学ぶ意識があるか。	創意工夫を凝らして思考し、事象や内容から正しい選択を判断し、その理由を自らの言葉で表現することができるか。	観察や実技の技能を身に付けて、安全面にも注意をはらって作業に取り組む事ができるか。	各単元の趣旨を理解し、実際に活用することができるか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

※令和３年度以前入学生用

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
前期	構造・性能	エンジン・シャシの構造	○	○	○	○	a:エンジン、シャシの構造について関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 c: 各種計測器を用いて計測ができるか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技
	力学・数学	力学の基本 数学的要素について	○	○		○	a:力学、数学について関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技
後期	電気電子理論	電気装置 電子制御装置	○	○		○	a:電気装置、電子制御装置について関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技
	材料	自動車材料	○	○		○	a:自動車材料について関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技
	燃料・潤滑油	燃料・潤滑油について	○	○		○	a:燃料・潤滑油について関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。